

平成 21 年度

原町成年寮地域生活援助センター
(生活支援・就労支援)

事業計画

社会福祉法人原町成年寮

1. 運営方針

- ・利用者の人権と自己決定を尊重した援助を行います。
- ・利用者の個性と自主性、主体制を大切にした援助を行います。
- ・利用者一人ひとりが社会人として、生きがいと喜びを持てるようにし、障害の重い方にも充実した日々を送れるよう援助します。
- ・自立と地域生活を継続させるために、必要な援助を行います。

2. 体制

(4月)

社会福祉法人原町成年寮

東京都葛飾通勤寮

奥戸福祉館（生活介護・就労継続 B 型）

キッチン KISS（就労継続 B 型）

原町成年寮地域生活援助センター（生活介護・就労移行）

MOMO'S recipe（生活介護）

原町成年寮地域生活援助センター

（グループホーム・ケアホーム）

（生活支援）

3. 事業計画

- ・第四次プロジェクトの成立にともない、その方向性を基本として事業計画を組み立てる。
- ・上記により、すみだセンターの法人独立に取り組む。役員派遣をはじめとして、運営の安定化に協力する。
- ・あらかわセンターは常勤化し、センター機能を確立する。そのためサービス管理責任者も独自に配置する。
- ・東京都社会福祉事業団の GH「つばさ」の世話人業務を受託し、原町成年寮の運営方式をすすめる。また「つばさ」隣接地に開設予定されているグループホームとの一体的運営を目指す。奥戸・新小岩地区のセンター化を目指し、奥戸福祉館利用者のグループホーム受皿としたい。
- ・いたばしセンターを 1 ユニットとし、世話人への必要なバックアップを行う。
- ・あだちセンターのバスケットを移転し、バスケットとの協力体制を模索する。
- ・えどがわセンターは将来構想を様々な形、試みで検討段階に入る。
- ・さくら生活寮は、他法人への移管作業に入る。

- かつしかセンターは不動産物件の紹介に一つひとつ検討し、ニーズにこたえていく。
- 生活部門としてのケアマネジメント体制を整備し、様々なニーズにこたえていくこととする。同時に就労、日中活動とのコーディネートを利用者の意向を踏まえながら、構築する。
- グループホームの防災検討委員会はサービス管理責任者会議で実行する。

原町成年寮地域生活援助センター
生活介護事業所アンジュ

平成 21 年度

事 業 計 画

1. 運営理念

- ・利用者の人権と自己決定を尊重した支援を行います。
- ・利用者の個性と自主性、主体性を大切にされた支援を行います。

2. 事業目的

障害者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう支援するため、事業所通所による介護サービス、機能訓練、創作活動、生産活動等の提供を目的とします。

3. 事業目標

利用者個々の意思を尊重する姿勢を常にもち、利用者のニーズを捉え対応できる体制を築いていく。また、利用者や家族の意見を聞きながら、利用者が望む支援、自己選択、自己決定ができる支援を行い、質の向上を目標にしていく。

4. 活動内容

①機能訓練・レクリエーション活動

利用者の心身の状況に応じて、日常生活を送るのに必要な機能の維持又はその減退を防止するための簡単な訓練を実施する。

ウォーキングやゲーム性のある運動を取り入れ、楽しい雰囲気の中でレクリエーション活動を行い運動不足の解消を図る。

②創作活動

利用者のニーズにあわせた、簡単なお菓子作り、ペーパークラフト、手芸など様々な創作活動を提供する。

③音楽活動

講師による歌や楽器演奏・身体表現をとおして、音楽による自己表現コミュニケーションの楽しさ、面白さを引き出していく。

活動日 第1・3木曜日午後（年24回）

講師 生方裕子・吉田あずみ

④生産活動

作業を通して社会参加を図り、生き生きとした生活を営む意欲が感じられるよう支援する。

請負（内職）・・・東栄社（学習教材の袋詰め）

フェニックス（コンサートグッズ、キャラクター商品等の袋詰め）

⑤その他販売

「柴又下町や」へのさをり加工品の卸とお茶の販売

5. 健康・衛生

- ・毎月月末に血圧・体重測定を実施する。
- ・食後の歯磨きを援助する。
- ・手洗い、うがいの実施

6. 年間行事予定

5月 ディズニーランド 上野動物園（どちらか選択）	12月 もちつき大会
9月 ぶどう狩り	2月 いちご狩り

7. 一日の流れ

	利用者迎え（リフト付送迎車）	13:00	午後活動開始
	利用者通所（徒歩）		軽作業 創作活動
9:30	朝礼 ラジオ体操		機能訓練
	軽作業 創作活動	14:30	お茶休憩
	タオル配達	15:30	利用者送り（リフト付送迎車）
10:30	お茶休憩	16:00	午後活動終了
12:00	午前活動終了		
	昼食（昼休み）		

パン工房モモズレシピ（従たる事業所）

1. 事業目標

ハンバーガー、ドックの専門店とし定着するために、メニューや価格の見直しを行い、外注していたハンバーガー用パティも店内で製造する。それに伴う職員の技術アップも必要となるため、定期的にハンバーガー専門店より社員を招き製造過程から指導を受け、その中で利用者も技術を習得していくことを目標とする。

また、店内販売だけでなく販売範囲を拡げたホームデリバリーを行い、それに伴う宣伝チラシ、ポスティングは、アンジュ全体でバックアップしモモズレシピの運営を行い、利用者の方の自立と社会参加を支援し働く姿を見てもらい地域社会の方に障害者の理解を深め、地域交流の場とする。

①営業日及び時間

- ・火曜～土曜日 10:00～18:00
- ・定休日 日祝日、月曜日

②販売方法

- ・店内販売
- ・ホームデリバリー

③食品衛生及び食中毒の予防

- ・パティ用挽肉、野菜等の保存については、毎日チェックを行い長期の保存はせず廃棄する。
- ・厨房内は清潔にし、製造過程では使い捨ての手袋を使用する。
- ・手洗い、うがいは常に行う。
- ・細菌（検便）検査は毎月行う。

平成 21 年度

原町成年寮地域生活援助センター

就労移行支援事業所 事業計画

1. 事業目的

障害者が企業で安心して働くことができるサービスの提供と環境づくりを行う。そのために、障害者への職業準備訓練と企業内での雇用支援を実施する。

2. 運営方針

- ①利用者の人権と自己決定を尊重した支援を行う。
- ②利用者の適性、個性を大切に、生きがいを持って働くことができるように支援する。
- ③企業が安心して障害者雇用を進められるよう、企業内での利用者支援、企業への雇用ノウハウの提供を行う。

3. 事業目標

利用者が個々の障害特性や適性に合った企業に就職し、安心して働くことができるようにするため、事業所内での訓練はもとより、外部の支援機関や企業等とも連携、情報交換を行い、一人一人の利用者に円滑な支援を提供できるように体制作りを行う。

①アセスメントの精度向上

- I. 的確なアセスメントができるように、必要に応じて現在の作業内容、環境の見直し、職員の技術向上を図る。

②求人情報の提供

- I. 利用者に対して定期的に求人情報が提供できるよう、職場開拓を行う。
- II. アセスメントの内容に応じて、利用者の適性に合った求人情報の提供ができるよう努める。

③連携の強化

- I. 利用者を中心とした支援を円滑に行うことができるよう、必要に応じて外部機関との連携を積極的に行う。
- II. 法人内部の就労チーム、ジョブコーチ、グループホーム担当と定期的に情報交換を行い、円滑な支援の提供に努める。

4. 事業内容

①事業所内支援

I. 作業訓練

事業所内での作業訓練を通して就労意欲や意識の向上、道具や器具の使い方の技術向上を図るとともに、利用者の適性や障害特性の把握を行う。

1. 清掃作業：地域生活援助センターの2～4Fのフロアー、トイレ、外階段の清掃業務

2. レンタルタオル：手拭きタオル、台ふきん、食器用ふきんを洗濯、パッキングし、グループホームにレンタル

II. 社会適応訓練（SST）

就職に向けての模擬面接や、社会性向上のための職場のマナー、言葉遣い、身だしなみ等の指導・訓練を、必要に応じて個別あるいは集団で行うことで、就職した際の職場適応力を高める。

②事業所外支援（施設外支援）

I. 職場実習

実際に企業内で作業を行うことにより、利用者の職場環境への適応状況の把握と適応するための訓練を実施。

II. ジョブコーチ支援

法人内のジョブコーチ支援事業を利用しない場合は、独自にジョブコーチ支援を実施。利用者への作業遂行援助、企業への雇用ノウハウの提供を行う。